

【改正内容<案>】  
**JAMAシート**の**材料表記変更**

(2018年10月 リリース予定)

各社の社内システム等の対応予算の確保に配慮し、  
早めのお知らせを致します。

2017年12月1日

JAPIA 環境対応委員会  
製品環境部会  
物質調査システム分科会

# 1. 目的

## JAMAシートとIMDSの データの相互互換性向上

IMDSとJAMAシートで異なる材料表記を極力IMDSに一致させ、

- ① ツール別のデータの作り分け
- ② ツール間のデータ転送時のデータの書き換え

を抑止する。

ただし、過去データの互換性には、可能な限り配慮をする。



## 3. 主な変更点

### 各社への影響:

- 3-1. 外部リストの変更 ⇒ 既存データを一括変更する場合、作業が必要
- 3-2. JAMAシートの機能変更 ⇒ 社内システムなどのチェックを変更

### 3-1. 外部リストの変更

- 1) IMDSでは記入欄の無い、「**表面処理識別**」を**廃止**
- 2) IMDSでは要求の無い、欧州ELV指令 ANNEXIIへの該当/非該当の区別のため用意されていた2種類の材料規格を1種類に統合する。  
「材料規格」**JAMAA2222**を**廃止**し、**JAMAA4444**に**統合**
- 3) IMDSと異なる記載様式になっている「VDA材料分類コード」**6.X**の材料に関し、「**材料コード**」の情報を「**材料記号**」に**移行**
- 4) 「材料名称」・「VDA材料分類コード」の変更  
(IMDS001aの改正があった場合に対応、詳細未定)

1) 2) 3) の詳細は、別資料「henko Ver.3.0.xlsx」をご覧ください。

## 3. 主な変更点

### 3-2. JAMAシート機能の変更

- 1) 「**表面処理識別**」欄 (No.12) を**廃止**
  - ・CSVファイル読込時、同項目の入力内容をクリア
- 2) 「**材料規格**」欄 (No.16) **JAMAA2222・JAMAA4444**の材料に関し、**アプリケーションコード入力要否のエラーチェックを廃止**
- 3) 「**VDA材料分類コード**」欄 (No.19) **6. X、7. X、8. X、9. X**の材料に関し、**「材料コード」欄 (No.17) のエラーチェックを変更(入力必須⇒入力可)**
  - ・「VDA材料分類コード」6. Xの材料については、XMLファイル出力の項目の対応関係を変更
  - 注)「**入力可**」とするが、外部リストMATシートの材料表記との一致チェックは引き続き実施されるため、記入任意とはならない
- 4) **CSVファイル読込時、前ページ 2) 3) 4) の旧表記データを自動変換**
  - ・変換したセルは色表示
  - ・変換する／しないの選択機能なし
  - ・過去データを確認できる様、2018.6発行Ver.2.51の有効期限を2019.3Eまで2M延長

1) 2) 3) の詳細は、別資料「henko Ver.3.0.xlsx」をご覧ください。

## 4. その他

- ・本改正に伴う再調査が発生しない様、資料や説明会で周知します

## 5. 本件に関するお問合せ先

JAPIA事務局 技術部 [jamashheet@japia.or.jp](mailto:jamashheet@japia.or.jp)

(回答にお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください)

以上